

第6回・第7回国際根研究学会シンポジウムについて

森田茂紀（東京大学大学院農学生命科学研究科）

第6回国際根研究学会シンポジウム

昨年11月11-15日に名古屋国際会議場において第6回シンポジウムを開催してから、早いものですでに半年が経ちました。「根の研究」第10巻4号に詳しい報告が掲載されているほか、第6回シンポジウム用のホームページ (<http://wwwsoc.nii.ac.jp/jsrr/isrr>) には、写真も掲載されております。また、組織委員長として以下の2つの報告を書きました。さらに、参加者による以下の報告がでておりますのでご参照下さい。

森田茂紀 (2002) 第6回国際根研究学会を主催して. 農業および園芸 77:262-266.

森田茂紀 (2002) 第6回国際根研究学会シンポジウムを終えて. 日本作物学会紀事 71:124.

Cavagnaro, T. (2002) The 6th Symposium of the International Society of Root Research: a mycorrhizist's point of view. Mycorrhiza 12:103-104.

後始末としての重要な仕事に成果の公表があります。締め切りまでに提出された論文の中から予備審査をパスした合計62編をとりまとめ、Plant and Soil 誌に投稿しました。同誌の審査にパスしてものが掲載されますが、そのほかに掲載論文を中心に単行書 (Abe, J. ed. Roots, the dynamic interface between plants and the earth. Kluwer) を刊行する予定です。

第7回国際根研究学会シンポジウム

第6回シンポジウムにペルソン会長が参加されなかったため、ビジネスミーティングは開催されず、総会においても次回のシンポジウムについて何も決まりませんでした。その後、ペルソン会長を中心に検討が行なわれておりますが、現在のところドイツ(Hoenheim)が有力な候補地となっております。また、シンポジウムの前後にオーストリアあるいはイタリアへのエクスカーションが計画される可能性もあります。以上は正式決定ではありませんので、今後もISRRの副会長の一人として随時経過報告をして参ります。また、しばらくの間は第6回シンポジウムのホームページ(既出)を第7回シンポジウムの宣伝用に利用する予定ですので、こちらもご覧下さい。